

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ずっと			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 4日 ~ 令和7年 3月 16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 6日 ~ 令和7年 3月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	LINEやHUGアプリで気軽に情報交換できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時には必ず写真付きで様子を伝えるようにし、リアルでより詳細な情報を伝えるようにしている。また、個別支援計画書の目標に対する評価も毎回行っている。</li> <li>・月に1~2回は活動報告としてHUGアプリで写真付きで報告を行っている。</li> <li>・公式LINEを導入し、電話以外で気軽にやりとりできるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インスタグラムを活用し、活動の紹介や事業所紹介の検討。</li> </ul>

2	活動の種類が豊富で個別のニーズに応じた手作りの作業課題も数多くある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日集団活動や小集団活動を取り入れている。</li> <li>・同月中に同じ活動が重ならないほど、活動の種類を準備している。同じ活動でもルールを変更したり、複数のねらいを持たせて行っている。</li> <li>・個別の作業課題は隨時新しいものを検討しており、長期休暇中は就労に向けた課題の準備も行った。</li> </ul>	・理学療法士による体幹トレーニングや姿勢保持などの活動の充実化の検討。
3	保育士や理学療法士など専門職が数多く在籍し、それぞれの職員から意見が活発に出て、日々業務改善や支援の改善に繋げる事が出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼や終礼時には気になった点や新たな発見は伝えてもらうように徹底しており、内容に応じて休みの職員にもLINEにて申し送りを行い、すぐに共有するようにしている。</li> <li>・常に職員間で声を掛け合い、話しやすい雰囲気づくりに努めている。</li> </ul>	・専門知識をより向上させるため、eラーニング研修を活用しながら職員個々のスキルアップに努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアルの作成や訓練・研修は行っているが全職員や保護者の方への周知が徹底できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方への情報発信する機会が少ない。</li> <li>・非常勤職員の中には週1回程度の出勤の職員もいる事や職員数を考えると書面での回覧には周知に時間がかかってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に対してはHUGアプリ、ホームページや公式LINEでの発信頻度を検討していく。</li> <li>・書面以外での周知方法を検討する。</li> <li>・マニュアルをより簡潔化した手順書やフローチャートを作成し、全職員が中身を把握できるようにする。</li> </ul>
2	ご家族に対する研修や報告会のような場が設ける事が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年度で様々な研修や体制づくりに追われてしまって、家族支援の一歩として茶話会の開催に留まってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度に年間行事として計画を行う。</li> </ul>